

令和3年度学校自己評価システムシート (県立北本高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの個性を伸ばし、生きる力を地域社会とともに育む学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 基礎・基本を重視し、教科指導力の向上を図る。 2 個に応じた進路指導を充実させ、多様な進路希望の実現を図る。 3 自主自律の精神と規律を重んじる態度を育成し、豊かな心を育む教育活動を推進する。 4 地域連携事業を推進するとともに、新規事業を広報する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	本校生徒は家庭での学習時間が極端に少なく、各教科における基礎・基本を徹底するためにも、家庭学習の時間を確保する必要がある。また、観点別評価についての共通認識を各教員が深め、次期学習指導要領を見据えた教科力の向上が急務である。	教員の教科力向上	①小テストの実施や課題提出、宿題等により、家庭での学習時間を確保する。 ②ICT機器の整備と適切な運用を行い、授業における効果的な活用を推進する。 ③観点別評価に対する校内理解を進め、実施に向けた検討を行う。	①生徒アンケートによる家庭学習の時間は増加しているか。 ②ICT機器の整備と効果的な活用はなされたか。授業を理解できている生徒は増加したか。 ③教科代表者会議等を通じて、実施に向けた共通理解は深められたか。		
2	生徒の多様な進路選択に向けて、十分な情報提供と丁寧な個別指導が必要不可欠である。段階的な指導を充実させるためにも、保護者との連携は欠かせない。コロナ禍により、従前とは異なる対応が様々な場面で求められるが、最新情報を素早く共有し、対応する柔軟さが必要である。	多様な進路希望に対応した指導の充実	①内容を刷新した進路通信を発行し、保護者や生徒、教員に対して適切な情報提供を行う。進路指導部会において、各学年との情報共有を深める。 ②進路諸行事の見直しを行い、段階的かつ計画的な指導を推進する。 ③長期休業中の補習を実施する。3年生は就職、進学に係る個別指導、面接指導を充実させる。	①最新かつ適切な進路情報が、生徒や保護者、教員に対して提供されたか。 ②進路行事の見直しはなされたか。段階的、計画的な指導は実施されたか。 ③補習や面接指導等は生徒の実情に応じて実施されたか。		
3	生徒指導上の課題は多く、生徒の規範意識を醸成していくことが必要である。遅刻指導、整容指導、適切な言葉遣いの指導等は、日常のあらゆる場面において学校全体で推進していかなければならない。その上で、生徒の主体性を活かした学校行事を充実させる必要がある。また、個に応じた対応が多く求められる中で、丁寧な教育相談の実施が不可欠である。	規範意識と主体性の育成	①遅刻指導、整容指導を段階的、継続的かつ組織的に行う。また、警察や保護者の協力を得て、交通安全指導や挨拶指導等を充実させる。 ②活動の目標を明確にし、生徒会行事を中心に、生徒に計画立案、行事運営を行わせる。	①遅刻指導、整容指導、交通安全指導、挨拶指導等を実施したか。指導件数は減少したか。 ②生徒会行事に対して、生徒は積極的に関わり、運営や総括を行うことができたか。		
		個に応じた支援の推進と情報共有	①教育相談委員の計画のもと、定期的な巡回支援を実施する。また、学年や保護者との連携を深め、個に応じた支援を充実させる。 ②管理職への報告、連絡、相談を適切に行い、組織的対応を充実させる。	①巡回支援や個に応じた支援は適切に実施されたか。 ②管理職と情報を共有し、組織的な対応ができたか。		
4	コロナ禍にあって、KISEP(北本市小・中・高相互交流事業)として実施できたのは昨年度は中丸小学校との交流事業のみであった。KISEPについては、北本市教育委員会と連携を図り、可能な地域交流事業を積極的に計画したい。あわせて、令和4年度からの制服改定や特別支援学校分校開設を北本高校の新しい特色として地域に発信する必要がある。	地域交流の推進	①北本市教育委員会を交え、中丸小学校並びに北本市内各中学校との打ち合わせを早期に行い、実施に向けて情報共有をし、計画を立案する。 ②北本市役所、北本市福祉事業団、北本市自治会、鴻巣警察署等と連携を図り、実施可能な地域連携事業を計画する。	①北本市教育委員会を交え、小・中学校との協議会を実施し、KISEPの計画立案、活動の推進はなされたか。 ②地域諸機関との連携、情報共有、事業に向けた計画の立案等は行われたか。		
		新規事業の広報	①令和4年度からの新制服について、学校HPや「北高だより」、学校説明会、中学校訪問等を通じて広報する。 ②令和4年度からの北本高校内分校開設に伴い、共生社会の実現へ向けての校内理解を一層深めるとともに、新しいスタイルの学校について地域や近隣中学校に広報する。	①制服改定についての情報は、中学生や保護者等に広報されたか。 ②共生社会の実現へ向けての校内理解は深められたか。また、北本高校内分校開設について、地域や近隣中学校に情報発信ができたか。		

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	